



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

8・9月号

令和7年8月27日

さいたま市立与野本町小学校

「154」と「99」

校長 小野圭司

まずは遅くなりましたが、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解、ご支援のおかげで1学期を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

さて、表題にある「154」と聞いて、察しのよい方はこの数字が何を表しているのか、すぐに気が付かれたことと思います。そうです。今年度、本校は開校154周年目を迎えています。開校は1872年（明治5年）でしたので、令和3年（2021年）に開校150周年をお祝いし、記念式典を開催したり記念誌を発行等したりしました。この周年記念事業を経験したのは現5・6年生となります。

では、「99」の数字は何を表しているのか。実は、現在地に本校が移転したのが1926年（大正15年）であり、この年から数えて現在地移転99年目を迎えています。その「99」です。開校からの55年間は上町長伝寺や仲町（現県立与野高校の地）で、その後の99年間は現在地となります。

また、本校の卒業生は令和6年度末で、19,430人です。この人数を153（年）で割ると、1年当たり約127人の計算になります。その年度によって卒業生が多い時や少ない時があったと思いますが、平均して約127人の卒業生が本校を巣立っていったかと思うと、感慨深いものがあります。そのような歴史と伝統のある本校を、今後も教職員一丸となり、子どもたちのために、家庭や地域と連携しながら、さらに素晴らしい学校にしていきたいと考えております。

本日の始業式でも、この「154」と「99」、「19,430」の数字を話題とし、本校の歴史と伝統の重みを子どもたちに伝えたところです。やはり5・6年生以外はピンと来ていない印象でしたが、今後、周年記念事業を進めていく中で、歴史と伝統の重みを徐々に感じていくことを期待したいです。

さらに、実は過日、開校155周年記念事業準備委員会を開催しました。ここでは、実行委員長や運営委員長の選出をはじめ、開校155周年記念事業を盛り上げてくださる実行委員を募集する旨が確認されました。今後、運営委員長から保護者の皆様等に募集案内が出されることと思いますので、ぜひご協力をいただければと思います。

2学期も、長きに渡り本校教育活動の方向性として示してきました学校教育目標「かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子」や本町の心「ニコニコ しっかり 美しく」を子どもたちに一層意識させるとともに、来年度には「155」と「100」となる周年記念事業に向けての組織の構築や取組の計画を進めてまいります。他には、校外学習や運動会、ニコニココンサートなど様々な行事も予定されていますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。